



信金中央金庫

SCB SHINKIN CENTRAL BANK

地域・中小企業研究所

ニュース&トピックス No. 2022-33

(2022. 6. 27)

〒103-0028 東京都中央区八重洲 1-3-7 TEL. 03-5202-7671 FAX. 03-3278-7048
URL <https://www.scbri.jp> e-mail : s1000790@FaceToFace.ne.jp

越境体験プラットフォーム「OpenWorking」について

とね かずゆき
刀禰 和之

ポイント

- 株式会社イトーキは、2022年4月より、越境体験プラットフォーム「OpenWorking」のサービス提供を開始した。
- 同サービスは、自らの成長を自らデザイン可能な「自律型人材」の育成を企業横断で取り組むもの。2022年4月開始の第1期には6社24人が参加している。
- 参加者は、日常業務と並行して同サービスに取り組む。単独で活動するのではなく、同社スタッフや他参加者と協力し合いつつ、自ら設定したゴールを目指す点が同サービスの特長と言える。
- 同サービスに対する金融機関からの照会が増えており、同社では2022年10月の第2期以降、段階を踏んで募集人数枠を増やしていく考えである。

1. 経緯

人口減少・少子高齢化やDXの進展、さらには新型コロナウイルス感染症の拡大などにより、わが国の企業を取り巻く社会環境は大きく変わりつつある。企業はこうした急速な変化に対応するため、自らの成長を自らデザイン可能な「自律型人材」の育成が急務とされる。

こうしたなか、株式会社イトーキは、働く人があらゆる枠を超えて学び合う場となる越境体験プラットフォーム「OpenWorking」のサービス提供を2022年4月に開始した（図表1）。

（図表1）会社概要

社名	株式会社イトーキ
創業	1890年12月1日
本社所在地	東京都中央区日本橋 2-5-1 日本橋高島屋三井ビルディング
会社HP	https://www.itoki.jp/

（備考）図表1・2ともに同社資料より信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

2. 仕組み

同サービスは、業種や規模を問わない企業同士がネットワークを構築することで、多様な価値観が交差する場を土台にした、6か月間の越境体験プラットフォーム（研修プログラム）である。選抜された社員をベンチャー企業等に出向させ、リーダーシップやマネジメント能力を学ぶスタイルの越境学習プログラムとは異なり、同サービスでは「働きながら異業種の参加者と協働する」ことで自己変革や組織変革などに取り組む点が特長と言える。

（1）対象企業・対象者

対象企業は、能動的な従業員を増やし挑戦風土のある組織へと活性化させたい企業などである。企業規模・業種・所在地などは問わない。

参加企業は従業員1人単位で同サービスに申し込む。同社では、参加者の年齢や保有スキルなどを限定しておらず、参加企業の判断で申し込める。

(2) 参加方法

参加者は日常業務と並行して同サービスの活動に取り組む。定例のミーティングなど以外は各自の裁量で活動でき、また原則オンラインによる参加も可能である。

(3) カリキュラム

同サービスは、6か月間のカリキュラムからなる(図表2)。同社は、各自がプログラム終了後の成果目標を自ら設定することを導きながら、プログラムを通じて「自律性」「学ぶ意欲」「自己肯定」「他者貢献」といった観点の成長を支援するべく6か月の伴走を行う。また外部講師や定型的な研修メニューも存在せず、参加者同士の学び合いや、参加企業の多様な部門・経営層の参画など、参加企業全体で場を創り上げていることがポイントである。

(図表2) OpenWorking のカリキュラム

Onboarding フェーズ (約1か月)	<ul style="list-style-type: none">参加者一人ひとりに働く中での「ありたい姿」を描いてもらう。働くを愉しむ先輩である様々な企業の経営層や他参加者の考え方に触れることで、凝り固まっていた思考の枠組みを徐々に外しながら、自らの成長に対する主体性を引き出す。
Quest フェーズ (約4か月)	<ul style="list-style-type: none">参加者個々の「ありたい姿」を起点にしたアクションを OpenWorking 内外で実践していく。OpenWorking では何かを教える講師は存在せず、参加者同士が互いの強みから学び合う場を設計している。自分の実力を社外で試したい、という参加者には、他社の実際の業務やプロジェクトに一定期間入り込んで、生の現場で力試しをしてもらう制度も活用可能である。
Bridging フェーズ (約1か月)	<ul style="list-style-type: none">OpenWorking での学びを活かし、更なる成長につなげるための、次なる目標設計を行う。OpenWorking での様々な挑戦を積み重ねてきた地点から自身のありたい姿を捉え直し、具体的なアクションへの落とし込みをすることで、一人ひとりが自走していけるまでを支援する。

3. 取組内容

(1) 第1期の開始

2022年4月の第1期は、6社24人の参加でスタートした^注。参加者の年齢や役職、参加理由などは異なるが、同社ではむしろ多様な価値観・バックグラウンドを有する従業員の参加が越境体験に必要な要素の一つだと評価する。

(2) 主な活動

参加者は、オンラインまたは同社の提供するワークスペースを使って同サービスに取り組んでいる。個々人が単独で活動するのではなく、同社スタッフや他参加者と議論したり、参加者以外の同僚などを巻き込んだりするなか、ゴールを目指す。参加者の掲げるゴールによっては、新規事業、マーケティング、商品企画など、参加企業が提示する実際の業務に、手挙げで挑戦することも可能である。

なお、同プログラムの活動内容や成果は、同社がレポートのうえ参加企業に還元する。

4. 今後の展開

近年、企業変革の手段として越境学習プログラムの注目度が高まっている。そのため同サービスに対し金融機関などからの照会や引合いがみられる。同社では2022年10月からの第2期に向けて、更なる参加者の募集を行っている。

以上

^注 株式会社イトーキ、カルビー株式会社、富士通株式会社、株式会社リコー、ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス合同会社など(2022年6月23日付株式会社イトーキ ニュースリリースを参照)